東京学芸大学リポジトリ
Tokyo Gakugei University Repository

加賀美雅弘先生著作目録（加賀美雅弘先生を送る）

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2022-04-06 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/2309/00173792

学芸地理 77 号 2021 年 pp.4-16

加賀美雅弘先生 著作目録

原著論文

農業経営の変化と農家の存在形態．霞ヶ浦地域研究報告（筑波大学地球科学系）**3**：23-56, 1981.（手塚 章ほかと共著）

下大津地区における畑作農業の展開．霞ヶ浦地域研究報告（筑波大学地球科学系）**4**：93-100, 1982.

医学地理学の最近の動向．人文地理 **34**：323-343, 1982.（籾山政子と共著）

わが国における脳卒中死亡の地域的パターン．地理学評論 **56**：311-323, 1983.

最近の医学地理学の研究動向．医学のあゆみ **124**：157-163, 1983.（籾山政子と共著）

東村における土地利用と景観の変化．地域調査報告（筑波大学地球科学系）**5**：7-27, 1983.（石井英也と共著）

集落の文化特性に関する比較研究―文化人類学における二つの事例．地域研究（立正地理学会）**24**：1-12, 1983.（山本正三ほかと共著）

Regional distribution of cerebrovascular disease in Japan. *Ecology of Disease* **2**: 277-283, 1983.

鹿島砂丘地帯における地域進化の一類型．地域調査報告（筑波大学地球科学系）**8**：23-46, 1986.（石井英也ほかと共著）

山形県における脳卒中死亡の地理学的分析．筑波大学人文地理学研究 **10**：61-76, 1986.

Bioclimatological study on cerebrovascular disease mortality in Japan. *Japanese Journal of Biometeorology* **24**: 111-115, 1987.（Momiyama, M. と共著）

南チロール，トレンチーノ地方における住民の健康状態と地域特性．東京学芸大学紀要第３部門 **39**：77-92, 1987.

Review of the research on geographical distribution of disease mortality in Japan, with particular attention to cerebrovascular disease. *Geographical Review of Japan* **61B**: 50-58, 1988.（Momiyama, M. ほかと共著）

A medico-geographical analysis of cerebrovascular disease in Tohoku district, Japan. *Geographia Medica* **18**（Medico-geographical Section of the Hungarian Geographical Society, Budapest）: 9-26, 1988.（Momiyama, M. ほかと共著）

わが国における疾病死亡の地域的差異に関する若干の考察．人文地理 **40**：461-474, 1988.

徴兵検査結果にみる住民の健康状態の地域差―北イタリアの事例．民族衛生 **55**：273-280, 1989.

景観にみる東ヨーロッパのドイツ中世植民．東京学芸大学紀要第３部門 **42**：61-70, 1991.

A geographical study on regional variations of disease mortality. *Science Reports of the Institute of Geoscience, University of Tsukuba, Sec. A* **12**: 65-89, 1991.

Regional variations of disease in South Tyrol and Trentino, Northern Italy: A study of historico-medical geography. *Geographical Review of Japan* **65B**: 1-14, 1992.

ドイツの生気候地域図について．学芸地理 46：24-26, 1992.

地理的単元としての中央ヨーロッパ（Mitteleuropa）

に関する一つの見解．新地理 **40**（**1**）：13-20，1992.

Das Müllproblem in Japan. *Praxis Geographie* **22**（**12**）: 37-39, 1992.（Schwarz, A. と共著）

国境開放による旧西ドイツ国境地域の変容―チェコとの国境地域についての研究事例にみる．東京学芸大学紀要第3部門 **45**：55-65，1994.

ドイツ統合にともなう東西ドイツ間の人口移動―とくに旧東ドイツからの通勤者の事例．新地理 **42**：13-27，1995.

Regionale Unterschiede der Sterblichkeit an Krankheiten in Japan. In *Krankheit und Raum: Dem Pionier der Geomedizin Helmut Jusatz zum Gedanken*（=Erdkundliches Wissen **115**), ed. W. Fricke and J. Schweikart, 137-147. Stuttgart: Franz Steiner Verlag, 1995.

アメニティのための森林浴・再考．日本生気象学会雑誌 **32**：43-45，1995.

ハンガリーにおけるドイツ系少数集団と地域変化．東京学芸大学紀要第3部門 **48**：231-246，1997.

The regional integration of Central Europe and ethnic minorities: A discussion of the German minority in Hungary. *Geographical Review of Japan* **70B**: 144-155, 1997.

Significance of the idea of walking in the woods as recreation in Japan. *Global Environmental Research* **2**: 187-192, 1998.

徴兵検査結果からみたオーストリア・ハンガリー帝国の地域間格差に関する予察的考察．地理学評論 **72A**：489-507，1999.（Meusburger, P. と共著）

中央ヨーロッパにおける民族集団の諸相．東京学芸大学紀要第3部門 **51**：55-76，2000.

旧東ヨーロッパにおける地域文化形成に果たすエスニック・マイノリティの役割―ハンガリーのドイツ系集団を事例として．東京学芸大学紀要第3部門 **54**：63-74，2003.

教会簿に記録された住民の死因の特性と地域変化―近代化の時期における南チロル地方の3集落の事例．地学雑誌 **112**：372-393，2003.

ヨーロッパにおけるエスニック集団の文化についての覚書き．学芸地理 **58**：11-22，2003.

ハンガリーの小学校におけるエスニック授業―ドイツ系ハンガリー人の事例．東京学芸大学紀要第3部門 **55**：55-62，2004.

オーストリア・ハンガリー帝国における保養地の地域的概観．東京学芸大学紀要第3部門 **56**：29-42，2005.

中欧都市ウィーンの景観形成と再生に関する予察．東京学芸大学紀要人文社会科学系Ⅱ **58**：11-20，2007.

中央ヨーロッパにおける都市景観の意義―ブダペストの旅行ガイドを用いた考察．東京学芸大学紀要人文社会科学系Ⅱ　**59**：39-58，2008.

Development of recreational and health resorts in Central Europe and the particular conditions in Meran, Italy. *Global Environmental Research* **12**: 117-122, 2008.

旅行ガイドブックに描かれたベルリンの景観―ベデカー『ドイツ帝国』の記述からの考察．東京学芸大学紀要人文社会科学系Ⅱ **60**：59-72，2009.

モータリゼーション以前のロサンゼルスの市街地―20世紀初頭の旅行ガイドブックを用いた把握．東京学芸大学紀要人文社会科学系Ⅱ **61**：47-59，2010.

都市再生事業による外国人集住地区の変容

―ウィーン・ブルネン地区の事例．学芸地理 **65**：11-34，2010.（山本葉月と共著）

旧東ドイツ地域の中小都市デーベルンにおける市街地整備．東京学芸大学紀要人文社会科学系Ⅱ　**64**：25-45，2013.（江尻直子と共著）

ドイツ・フォークトラント地方の地域再生にとっての野外博物館．東京学芸大学紀要人文社会科学系Ⅱ **65**：23-34，2014.

ロサンゼルスにおけるドイツ系住民の分布に関する一考察．東京学芸大学紀要人文社会科学系Ⅱ **66**：39-48，2015.

保養地の環境評価に関する一考察―気候保養地メラーンの解説書（1881）を用いて．東京学芸大学紀要人文社会科学系Ⅱ　**67**：35-46，2016.

環境を重視したヘルスツーリズムの可能性―中央ヨーロッパ保養地を事例として．研究年報（日本健康開発財団）**37**：7-14，2016.

横浜における観光空間の形成と変容―昭和初期の旅行ガイドブックを用いた分析．学芸地理 **72**：23-41，2016.（西山 萌と共著）

気候と健康・病気に関する地理学研究に向けた覚書．東京学芸大学紀要人文社会科学系Ⅱ **68**：1-12，2017.

EU 国境地域オーストリア・ブルゲンラント州の地域性―民族共生を踏まえた検討．学芸地理 **73**：32-44，2017.

ヨーロッパにおける地名表記に関する検討．東京学芸大学紀要人文社会科学系Ⅱ　**69**：29-41，2018.

スロヴァキアのエスニック集団の変化とロマの社会的状況．学芸地理 **75**：16-25，2019.

オーストリアにおけるロマのエスニック資源活用の可能性．地理空間 13：215-229，2020.

著書

【単著】

『気象で読む身体』講談社（現代新書 1047），208p．1991.

『ハプスブルク帝国を旅する』講談社（現代新書 1361），286p．1997

『病気の地域差を読む―地理学からのアプローチ』古今書院，224p．2004.

『食で読み解くヨーロッパ―地理研究の現場から』朝倉書店，165p．2019.

【編著】

『「ジプシー」と呼ばれた人々―東ヨーロッパ・ロマ民族の過去と現在』学文社，347p．2005.

『ＥＵ』朝倉書店〔世界地誌シリーズ 3〕，152p．2011.

『ロシア』朝倉書店〔世界地誌シリーズ 9〕，176p．2017.

『ヨーロッパ』朝倉書店〔世界地誌シリーズ 11〕，173p．2019.

【共著・共編著】

『東欧革命後の中央ヨーロッパ―旧東ドイツ・ポーランド・チェコ・スロヴァキア・ハンガリーの挑戦』二宮書店，258p. 2000.（小林浩二・佐々木 博・森 和紀・山本 充・中川聡史・呉羽正昭と共編著）

『身近な地域を調べる』古今書院〔東京学芸大学地理学会シリーズ 1〕，132p．2002.（竹内裕一と共編）

『東ヨーロッパ・ロシア』朝倉書店〔朝倉世界地理講座―大地と人間の物語 10〕，423p．2007.（木村 汎と共編）

『地誌学概論』朝倉書店〔地理学基礎シリーズ 3〕，160p．2007.（矢ケ﨑典隆・古田悦造と共編著）

『身近な地域を調べる（増補版)』古今書院〔東京学芸大学地理学会シリーズ1〕，132p. 2009.（竹内裕一と共編）

『ヨーロッパ学への招待―地理・歴史・政治からみたヨーロッパ』学文社，244p. 2010.（川手圭一・久邇良子と共著）

『ヨーロッパ学への招待―地理・歴史・政治からみたヨーロッパ（第二版)』学文社，242p. 2014.（川手圭一・久邇良子と共著）

『オーストリアの風景』ナカニシヤ出版，188p. 2015.（浮田典良・藤塚吉浩・呉羽正昭と共著）

『グローバリゼーション―縮小する世界』朝倉書店〔シリーズ地誌トピックス3〕，142p. 2018.（矢ケ﨑典隆・山下清海と共編）

『景観写真で読み解く地理』古今書院〔東京学芸大学地理学会シリーズⅡ　第3号〕，106p. 2018.（荒井正剛と共編）

『地誌学概論　第2版』朝倉書店〔地理学基礎シリーズ3〕，184p. 2020.（矢ケ﨑典隆・牛垣雄矢と共編著）

【分担執筆】

『日本の風土と文化』市川健夫編，古今書院，1991.（「疾病と風土」79-91）

『首都圏の空間構造』山本正三編，二宮書店，1991.（「わが国における疾病死亡の地域的差異とその変化」464-472）

『生気象学の事典』日本生気象学会編，朝倉書店，1992.（「疾病と地域」94-95）

Japan and Central Europe Restructuring. W. Flüchter ed., Wiesbaden: Verlag Harrassowitz, 1995.（Disease mortality in Japan: Regional contexts, 211-219）

『ドイツが変わる　東欧が変わる』小林浩二編，二宮書店，1996.（「ドイツ統合と人口の大移動」1-24）

『ジオグラフィー入門―地理学でみる日本と世界』高橋伸夫・谷内 達・阿部和俊・佐藤哲夫編，古今書院，1996.（「エイズを地理学から考える」18-19）

『日本地名大百科』 中村和郎・浮田典良・高橋伸夫編，小学館，1996.（東京の地名に関する項）

『人文地理学辞典』山本正三・奥野隆史・石井英也・手塚 章編，朝倉書店，1997.（医学地理学，民族集団に関する項）

Lexikon der Geographie, Band 1-4. E. Brunotte, H. Gebhardt, M. Meurer, P. Meusburger and J. Nipper ed., Heidelberg: Spektrum Akademischer Verlag, 2001.（Artikel über 15 Japanische Geographen）

『ウィーン・オーストリアを知るための50章』広瀬佳一編，明石書店，2002.（「外に開かれた国土」「オーストリアはひとつか？」「魅惑のアルプス」「究極のユートピア」124-143）

『食の世界―私たちの食を考える』菊地俊夫編，二宮書店〔めぐろシティカレッジ叢書1〕，2002.（「食と栄養の地域差」「世界における食のタブー」「日本における健康地図」122-141）

『新地理授業を拓く・創る』渋澤文隆編，古今書院，2002.（「エイズに関する話題への地理的アプローチ」164-168）

『21世紀の人文地理学展望』高橋伸夫編，古今書院，2003.（「アメニティの地理学」495-505）

『地域研究』村山祐司編，朝倉書店〔シリーズ人文地理学2〕，2003.（「先進世界の地域研究―東ヨーロッパを調べる」108-127）

『環境気候学』吉野正敏・福岡義隆編，東京大学出版会，2003.（「リクリエーション」「観光と気候」291-297）

『気候風土に学ぶ―暮らしと健康の歳時記』吉野正敏編，学生社，2004.（「海水浴」「森林浴と温泉」79-80/101-103）
『オーストリア・ポーランド・チェコ・スロヴァキア・ハンガリー・ルーマニア』川向正人監修，エクスナレッジ〔世界の建築・町並みガイド5〕，2004.（「ハプスブルク帝国の温泉地を巡る」151-157）
『現代地理学入門―身近な地域から世界まで』高橋伸夫・内田和子・岡本耕平・佐藤哲夫編，古今書院，2005.（「フィールドを歩いて地域を調べる」16-21）
『日本総論Ⅱ（人文・社会編）』山本正三・谷内達・菅野峰明・田林 明・奥野隆史編，朝倉書店〔日本の地誌2〕, 2006.（「社会」101-105）
『地理教育用語技能事典』日本地理教育学会編，帝国書院，2006.（「環境，決定論，可能論，相互作用論」26-27）
『地理学概論』上野和彦・椿 真智子・中村康子編，朝倉書店〔地理学基礎シリーズ1〕，2007.（「地域・空間論」12-15）
『日本の諸地域を調べる』上野和彦・高橋日出男編，古今書院〔東京学芸大学地理学会シリーズ3〕，2007.（「日本の食文化の多様性を調べる―「家計調査」を用いて」112-116）
『世界の国々を調べる』矢ケ﨑典隆・椿 真智子編，古今書院〔東京学芸大学地理学会シリーズ4〕，2007.（「ドイツ―都市の個性をサッカーチームで調べる」86-92）
『実践 地理教育の課題―魅力ある授業をめざして』小林浩二編，ナカニシヤ出版，2007.（「観光からみた東西ヨーロッパ」125-141）
『図説 世界の地域問題』漆原和子・藤塚吉浩・松山 洋・大西宏治編，ナカニシヤ出版，2007.（「東ヨーロッパの経済停滞地域とロマ問題」84-85）
『EU 拡大と新しいヨーロッパ』小林浩二・呉羽正昭編著，原書房，2007.（「EU 統合に伴う東ヨーロッパの都市市街地の変化―ハンガリー・ブダペストの市街地再開発」1-16）
『エスニック・ワールド―世界と日本のエスニック社会』山下清海編，明石書店，2008.（「ドイツのエスニック社会」「ジプシーと呼ばれたロマ」117-129）
『都市の景観地理―大陸ヨーロッパ編』阿部和俊編，古今書院，2009.（「中欧都市ウィーン市街地の景観形成と再生」61-72）
『経済地理学の成果と課題 第Ⅶ集』経済地理学会編，日本経済評論社，2010.（「ヨーロッパ」199-205）
『からだと温度の事典』彼末一之監修，朝倉書店，2010.（「文化としての温泉」614-616）
『現代のエスニック社会を探る―理論からフィールドへ』山下清海編，学文社，2011.（「記憶と戦略としてのエスニック景観」「イタリア・南ティロール地方におけるエスニック文化と観光地化」10-19/113-128）
『ウィーン・オーストリアを知るための57章〔第2版〕』広瀬佳一・今井 顕編，明石書店，2011.（「外に開かれた国土」「オーストリアはひとつか？」「魅惑のアルプス」「究極のユートピア」16-37）
『拡大EUとニューリージョン』小林浩二・大関泰宏編著，原書房，2012.（「EU 統合のなかでの国民国家とエスニック集団」2-14）
『中央・北ヨーロッパ』山本健児・平川一臣編，朝倉書店〔朝倉世界地理講座―大地と人間の物語9〕，2014.（「ウィーン―観光客と外国人が織りなす都市」「EUとオーストリア」412-421/464-469）
『世界と日本の移民エスニック集団とホスト社会―日本社会の多文化化に向けたエスニッ

ク・コンフリクト研究』山下清海編，明石書店，2016.（「エスニック集団の記憶の場―ウィーンのユダヤ人の観光スポット」「エスニック市場に見るウィーンのエスニック景観の動向」46-52/129-148）

『博物館という装置―帝国・植民地・アイデンティティ』石井正己編，勉誠出版，2016.（「ドイツ・フォークトラント地方の地域おこしと野外博物館」272-290）

『気候変動の事典』山川修治・常盤勝美・渡来靖編，朝倉書店，2017.（「健康・疾病への影響」142-147）

『移民社会アメリカの記憶と継承―移民博物館で読み解く世界の博物館アメリカ』矢ケ崎典隆編，学文社，2018.（「ロサンゼルスにおけるドイツ系住民と伝統文化」211-231）

『〈地理を学ぼう〉海外エクスカーション』島津 弘・伊藤徹哉・立正大学地理学教室編，朝倉書店，2019.（「ヨーロッパを学ぶためのアウシュヴィッツ」41-47）

『多文化共生社会に生きる―グローバル時代の多様性・人権・教育』李 修京編，明石書店，2019.（「アメリカ合衆国で「復権」するドイツ系移民」95-96）

『中欧・東欧文化事典』中欧・東欧文化事典編集委員会編，丸善，2021.（「中東欧の地域と自然」4-5）

『続 世界の地域問題』漆原和子・藤塚吉浩・松山 洋・大西宏治編，ナカニシヤ出版，2021.（「変わる東ヨーロッパの環境問題」96-97）

【翻訳・監修】

『商業環境と立地戦略』ジョーンズ, K.・シモンズ, J. 著，藤田直春・村山祐司監訳，大明堂．1992.（「供給する側の主な担い手」51-91）（尾藤章雄と共訳）

『地図と絵でみる世界の国ぐに・民族』ポプラ社，39p．1992.（青木栄一と共監修）

『アメリカ合衆国テーマ別地図』ドイル, R. 著，高橋伸夫・田林 明監訳，東洋書林，1995.（「健康」136-154）

『現代アメリカ社会地図』アンドリュース，A. C.・フォンセカ，A. C. 著，高橋伸夫・菅野峰明・田林 明監訳，東洋書林，1997.（「健康と疾病」「医療と医療費」77-115）

報告書・雑文

西ドイツにおける最近の疾病地図．地図情報 **5**：19-22，1985.

最近の医学地理学の動向．安西　定編『計量地理学的手法による疾病発生要因の解析方法の開発に関する研究』科学研究費報告書，3-14，1985.（籾山政子と共著）

脳卒中による死亡現象の地域的パターン．安西 定編『計量地理学的手法による疾病発生要因の解析方法の開発に関する研究』科学研究費報告書，95-101，1985.（籾山政子と共著）

東北地方の脳卒中とその「気温域」の関係．安西 定編『計量地理学的手法による疾病発生要因の解析方法の開発に関する研究』科学研究費報告書，103-108，1985.（籾山政子と共著）

東北日本海沿岸地域の気候区別脳卒中SMRとの関係．安西 定編『計量地理学的手法による疾病発生要因の解析方法の開発に関する研究』科学研究費報告書, 109-113, 1985.（籾山政子ほかと共著）

冬期気温による気候区分と脳卒中SMRとの関係．安西 定編『計量地理学的手法による疾病発生要因の解析方法の開発に関する研究』科学研究費報告書, 115-117, 1985.（籾山政子ほかと共著）

疾病地理に関する本．地理月報 **343**：14-15, 1986.

からだによい場所はどこか．地理 **36**（**12**）：21–29，1991.
生気象学からみた人間の熱環境．Glass and Architecture（綜建築研究所）**405**：10-11，1991.
ドイツの生気候地域図について．学芸地理 **46**：24–29，1992.
書評：ロックハート, G. 著，グループ W 訳『お天気となかよくなれる本―世界気象博物誌』丸善．學鐙 **89**（**2**）：68–69，1992.
書評：鈴木継美著『パプアニューギニアの食生活』海青社．新地理 **39**（**4**）：60-61，1992.
インドシナの病気地図．地理 **38**（**9**）：30–35，1993.
気象環境からみた肩こり．日本整形外科医学会誌 **17**（**3**）：19–22，1993.
書評：田中克彦著『ことばのエコロジー―言語・民族・「国際化」』農文協．地理 **38**（**11**）：122–123，1993.
書評：矢ケ﨑典隆著『移民農業』古今書院．地理 **39**（**2**）：140–141，1994.
書評：浮田典良編『ジオグラフィックパル―地理学便利帖 1994–95 年版』海青社．地理 **39**（**3**）：120–121，1994.
からだと空気．子供の科学 **57**（**3**）：22–25, 1994.
書評：高橋伸夫・山下脩二・菅野峰明・手塚章・山下清海著『世界地図を読む―図説世界地理』大明堂．地理 **39**（**4**）：115–116，1994.
書評：フィリップス, H. 著，宇京頼三訳『アルザスの言語戦争』白水社．地理 **39**（**8**）：121–122，1994.
書評：山田睦夫・細野昭雄・高橋伸夫・中川文雄著『ラテンアメリカの巨大都市―第三世界の現代文明』二宮書店．地理 **39**（**9**）：125–126，1994.
学界展望：年間展望（1994 年 1 月～ 12 月）―人口．人文地理 **47**：242–243，1995.
ドイツ統合にともなう東西ドイツ間の人口移動―とくに旧東ドイツからの通勤者の事例．小林浩二編『ドイツにおける旧国境地域の地域構造の変化』科学研究費　海外学術研究報告書，15–29，1995.
旧西ドイツ地域へのドイツ系帰還住民の流入とその空間的特性．小林浩二編『ドイツにおける旧国境地域の地域構造の変化』平成 6 年度科学研究費（国際学術研究・学術調査）研究報告書，31–38，1995.
地域的にみる食文化．地理月報 **421**：1–3, 1995.
書評：太田 勇著『国語を使わない国―シンガポールの言語環境』古今書院．地理 **40**（**1**）：129–130，1995.
書評：SE 編集部編『アジア物語』翔泳社．地理 **40**（**2**）：122–123，1995.
書評：大津留 厚著『ハプスブルクの実験』中央公論社．地理 **40**（**5**）：118–119，1995.
書評：山口裕一著『人はなぜ道に迷うか』筑摩書房．地理 **40**（**10**）：122–123，1995.
書評：今泉みね子著『緑のフライブルクで愛を見た』講談社．地理 **40**（**11**）：121–122，1995.
中央ヨーロッパの地域統合と少数民族集団．地理 **41**（**5**）：47–57，1996.
書評：福岡義隆著『都市の風水土―都市環境学入門』朝倉書店．新地理 **44**（**3**）：34–35，1996.
「からだ」の四季．「日本経済新聞・夕刊コラム」日本経済新聞社（1996 年 5 月 11 日–1997 年 4 月 5 日：毎週土曜日・連載 47 回），1996–1997.
食塩選択行動と環境要因の構造に関する食生態学的研究―世帯及び地域の食塩選択に関する地理学的，食生態学的研究．ソルトサイエンス研究財団編『平成 7 年度助成研究報

告集Ⅱ　生理・食品・栄養系編』ソルトサイエンス研究財団, 5-20, 1997.（足立己幸ほかと共著）

天気に左右される身体の健康状態．小学保健ニュース**494**付録，少年写真新聞社，1, 1997.

中央ヨーロッパの地域統合と少数民族集団．小林浩二編『中央ヨーロッパにおける市場経済化と地域構造』科学研究費（国際学術研究・学術調査）研究成果報告書, 3-8, 1999.

書評：金田章裕著『オーストラリア景観史―カントリータウンの盛衰』大明堂．新地理**46**（**4**）：36-38，1999.

変動するヨーロッパ．地理月報**454**：1-4, 2000.

『地域住民の健康状態からみた地域間格差と近代化―戦前の軍統計を用いた日欧比較』科学研究費　基盤研究(C)（2）研究成果報告書，103p，2001.

少数民族集団のアイデンティティ形成に関する考察―ハンガリーのドイツ系集団を事例にして．小林浩二編『中央ヨーロッパにおける地域構造と生活様式の変化』科学研究費基盤研究（A）（2）研究成果報告書，285-299，2002.

移動集団としてのエスニック・マイノリティの社会的統合―ハンガリーにおけるドイツ系住民のエスニック・アイデンティティを事例にして．人口問題研究資料（国立社会保障・人口問題研究所）**305**「国際移動者の社会的統合に関する研究　最終報告書」，149-162，2002.

ネッカー川と選帝侯の城が育んだ古都．『世界100都市（第**52**号）「ハイデルベルクと古城街道」』朝日新聞社，4-5，2002.

書評：山下清海著『東南アジア華人社会と中国郷僑―華人・チャイナタウンの人文地理学的考察』古今書院．新地理**50**（**3**）：34-36，2002.

暑い季節を健康にすごすために．小学保健ニュース**659**付録，少年写真新聞社，1，2002.

歴史的文脈でみる東ヨーロッパという地域．地理**48**（**5**）：8-14，2003.

なぜ？が基本の地理．NHK学園通信**305**：2-3，2003.

地方色豊かなドイツで考える．ECHO（DAAD〔ドイツ学術交流会〕友の会）**19**：33-35，2003.

『社会指標からみたヨーロッパの地域間格差と近代化―「生活の質」に着目した分析』科学研究費　基盤研究(C)研究成果報告書，86p，2003.

学界展望：年間展望（2003年1月-12月）―地域研究・地誌．人文地理**56**：247-249，2004.

「人類史の汚点」アウシュヴィッツを訪ねる．まほら（旅の文化研究所）**45**：44-45，2005.

『近代化にともなうヨーロッパの地域間格差の拡大メカニズム―保養地を事例にした分析』科学研究費　基盤研究(C)（2）研究成果報告書，97p．2005.

天気に左右される身体の健康状態．小学保健ニュース**771**付録，少年写真新聞社，1，2006.

中央ヨーロッパのロマとEU拡大―地域統合が直面する問題とは．地理月報**492**：6-8，2006.

地理資料：コソヴォ問題から読み解くヨーロッパ．新地理**56**（**1**）：31-37，2008.

条里制と塊村―奈良県橿原市・天理市・田原本町．地理・地図資料2008年6月号（別冊都市・集落学習ノート）**178**（帝国書院），2008.

城下町―滋賀県彦根市．地理・地図資料2008年10月号（別冊　都市・集落学習ノート）**180**（帝国書院），2008.

地理資料：観光で読むヨーロッパの地域構造．新地理**56**（**2**）：27-31，2008.

書評：漆原和子編著『石垣が語る風土と文化―屋敷囲いとしての石垣』古今書院．学芸地理**63**：45-47，2008.

『国際理解教育におけるヨーロッパ地域学習のための横断的カリキュラム開発』2007年度重点研究費　研究報告書，東京学芸大学，47p．2008.（川手圭一ほかと共著）

学園都市―東京都国立市付近．地理・地図資料2009年2月号（別冊　都市・集落学習シート）**182**（帝国書院），2009.

『グローバリゼーションと現代ヨーロッパの課題―EU・国家・地域の重層的構造の検討とそのカリキュラム開発』2008年度重点研究費　研究報告書，東京学芸大学，63p．2009.（川手圭一ほかと共著）

棚田―姨捨の棚田　長野県千曲市．地理・地図資料2009年1学期特別号（別冊　都市・集落学習シート）**184**（帝国書院），2009.

オランダ・キンデルダイクの風車群．中学校社会科のしおり2009年9月号**16**：39（帝国書院），2009.

フランス南部の円村．地理・地図資料2009年度2学期号**185**：19（帝国書院），2009.

散村―出雲平野　島根県出雲市・斐川町．地理・地図資料2009年度2学期特別号（別冊　都市・集落学習シート）**186**（帝国書院），2009.

ちりさんぽ―微高地と江戸川の分流．地理・地図資料2010年度1学期号**188**：21-22（帝国書院），2010.

門前町―成田山新勝寺 千葉県成田市・富里市．地理・地図資料2010年度1学期特別号（別冊　都市・集落学習シート）**189**（帝国書院），2010.

気候とかかわりのある暮らし．Consultant **248**：16-19（建設コンサルタント協会），2010.

ちりさんぽ―50ｍ等高線でたどる湧水帯．地理・地図資料2010年度2学期号**190**：21-22（帝国書院），2010.

ため池―香川県丸亀市・善通寺市付近．地理・地図資料2010年度2学期特別号（別冊　都市・集落学習シート）**191**（帝国書院），2010.

ちりさんぽ―幕張の地形変遷をたどる．地理・地図資料2010年度3学期号**192**：21-22（帝国書院）2011.

2010年大会特別研究発表―報告・討論の要旨および座長の所見「川口 洋：近代移行期の天然痘による疾病災害研究の課題」．人文地理**63**：78-83，2011.

ちりさんぽ―玉川上水の上流をたどる．地理・地図資料2011年度1学期特別号**194**：21-22（帝国書院），2011.

クリーク―福岡県柳川市・佐賀県佐賀市付近．地理・地図資料（別冊　都市・集落学習シート）**194**（帝国書院），2011.

ちりさんぽ―三浦半島の海岸と段丘をたどる．地理・地図資料2011年度2学期号**195**：21-22（帝国書院），2011.

ドイツの風力発電．地理・地図資料**196**：2（帝国書院），2011.

孤立荘宅―十勝平野　北海道鹿追町・音更町．地理・地図資料2011年度2学期特別号（別冊　都市・集落学習シート）**196**（帝国書院），2011.

ちりさんぽ―城下町　川越を歩く．地理・地図資料2011年度3学期号**197**：21-22（帝国書院），2012.

地理巡検で注目したい東京の地形．地図情報**32**（**1**）：4-6（地図情報センター），2012.

環濠集落―奈良盆地　稗田の環濠集落．地理・地図資料2012年度2学期①号（別冊　都市・集落学習シート）**200**（帝国書院），2012.

ちりさんぽ―東京ベイエリア江東区・中央区を歩く．地理・地図資料**200**：21-22（帝国書院），2012.

学術都市―関西文化学術研究都市　京都府相楽郡精華町・奈良県生駒市．地理・地図資料2012年度2学期②号（付録　都市・集落学習シート）**201**（帝国書院），2012.

小泉武栄先生のご退職に向けて．学芸地理**67**：21，2013.

ちりさんぽ―都心の住宅地で河川争奪跡をたどる．地理・地図資料**202**：21-22（帝国書院），2013.

東京学芸大学地理学会60周年を記念して．学芸地理**68**：3，2013.

宿場町―関町　三重県亀山市関町．地理・地図資料2012年度3学期号（付録　都市・集落学習シート）**202**（帝国書院），2013.

円村―ドイツ　ベルリン近郊，タウンシップ制―アメリカ合衆国　アイオワ州，政治都市―オーストラリア　キャンベラ．地理・地図資料（付録　都市・集落学習シート）**203**（帝国書院），2013.

野外博物館からみたドイツ・フォークトラント地方の地域再生．横井雅子編『ドイツ・フォークトラントにおける楽器製造の歴史と現状に見る伝統継承と地域再生』科学研究費　基盤研究(B) 研究成果報告書，43-55，2014.

外国巡検を利用したフィールドワーク学習―ヨーロッパ巡検の事例．中村康子（代表者）『「現地主義」に基づくフィールドワークの応用地理教育的研究』2013年度東京学芸大学重点研究報告書，32-38，2014.

計画都市―インド　ベリー，計画都市―アメリカ合衆国　ワシントンD.C.，計画都市―ブラジル　ブラジリア．地理・地図資料（付録　都市・集落学習シート）**205**（帝国書院），2014.

『エコライフと宗教と教育に関する関係性の研究』平成25年度広域科学教科教育研究報告書（東京学芸大学大学院連合学校教育学研究科），4p．2014.（浅沼 茂ほかと共著）

日本人の論じられ方：ウラオモテ―EU．社会科教育（明治図書）**665**：46-47，2014.

新田集落―三富新田　埼玉県三芳町上富付近．地理・地図資料2014年度2学期号（付録都市・集落学習シート）**209**（帝国書院），2014.

拡大するEUに着目したヨーロッパ地域理解の視角．新地理**62**（**3**）：78-85，2014.

EU都市におけるエスニック景観のコンフリクト―多文化共存の可能性に向けた検討（2014年秋季学術大会シンポジウム「エスニック集団とホスト社会―日本社会の多国籍化に向けて．E-journal GEO **9**（**2**）：223，2014.

保養ツーリズムにみる環境の評価と利用―ヨーロッパの気候保養地に着目した考察．加賀美雅弘編『多文化社会の共生に向けた地理的アプローチ方法の開発―海外日本人コミュニティの現地適応に着目して』2014年度東京学芸大学重点研究報告書，19-33，2015.

ちりさんぽ―港町・横浜の歴史と地形をたどる．地理・地図資料2015年度1学期号**211**：25-26（帝国書院），2015.

埋立地と工業都市―洞海湾　福岡県北九州市．地理・地図資料2015年度2学期①号（付録　都市・集落学習シート）**212**（帝国書院），2015.

干拓地―児島湾　岡山県岡山市，倉敷市，玉野市，早島町．地理・地図資料2015年度3学期号（付録　都市・集落学習シート）**214**（帝国書院），2016.

『宗教的エートスが教育に与える影響の研究』平成27年度広域科学教科教育研究報告書（東京学芸大学大学院連合学校教育学研究科），5p．2016.（浅沼 茂と共著）

輪中―岐阜県海津市，三重県桑名市，愛知県愛西市．地理・地図資料2016年度2学期①号（付録　都市・集落学習シート）**216**（帝国書院），2016.

書評：山下清海著『新・中華街―世界各地で〈華人社会〉は変貌する』講談社．新地理 **64**（**3**）：105-107，2016.

工業・水産都市―北海道釧路市．地理・地図資料2016年度3学期号（付録　都市・集落学習シート）**218**（帝国書院），2017.

景観写真で読み解くドイツ．東京学芸大学人文社会科学系地理学分野編『景観写真を用いた中学校／高等学校地理教材の開発』平成28年度人文社会科学系教育支援経費研究報告書，41-52，2017.

『ヨーロッパ都市文化を題材にした多文化共生に関する大学院教育の可能性』平成28年度広域科学教科教育研究報告書（東京学芸大学大学院連合学校教育学研究科），23p．2017.（明石英一郎と共著）

港町―長崎県長崎市．地理・地図資料2017年度2学期①号（付録　都市・集落学習シート）**220**（帝国書院），2017.

「地理紀行」の発足によせて. E-journal GEO **12**：116-117，2017.

書評：宮澤 仁編著『地図でみる日本の健康・医療・福祉』明石書店．人文地理 **69**：402-403，2017.

臨海工業都市　四日市コンビナート―三重県四日市市．地理・地図資料2017年度3学期号（付録　都市・集落学習シート）**222**（帝国書院），2018.

『高等学校「地理」における近隣諸国・地域理解のための教材開発―台湾の事例研究』平成29年度広域科学教科教育研究報告書（東京学芸大学大学院連合学校教育学研究科），38p．2018.（青木 久ほかと共著）

地球を描く図法．地図情報 **37**（**4**）：2，2018.

地理学における外国地名の表記方法に関する検討．学術研究助成報告集（国土地理協会）**3**：177-194，2018.

ちりさんぽ―文京区の台地と谷をたどる．地理・地図資料2018年度1学期号 **211**：16-17（帝国書院），2018.

2018年度春季学術大会シンポジウム　地理教材としての景観写真の活用術．E-journal GEO **13**：409-413，2018.（椿 真智子ほかと共著）

書評：石井久生・浦部浩之編『中部アメリカ（世界地誌シリーズ10）』朝倉書店．新地理 **66**（**2**）：116-118，2018.

散村―砺波平野　富山県砺波市，南砺市．地理・地図資料2018年度2学期号（付録　都市・集落学習シート）**224**（帝国書院），2018.

『景観写真を用いた九州地方の地誌学習のための教材化の試み』平成30年度広域科学教科教育研究報告書（東京学芸大学大学院連合学校教育学研究科），28p．2019.（青木 久と共著）

書評：ハバード, P.・キチン, R.・バートレイ, B.・フラー, D. 著，山本正三・菅野峰明訳『現代人文地理学の理論と実践―世界を読み解く地理学的思考』明石書店．人文地理 **71**：190-191，2019.

書評：山下清海『世界のチャイナタウンの形成

と変容―フィールドワークから華人社会を探求する』明石書店．地理学評論 **92**：311-313，2019.

門前町，宿場町，新都心―埼玉県さいたま市．地理・地図資料2019年度2学期号（付録都市・集落学習シート）**227**（帝国書院），2019.

『景観写真を用いた沖縄地方の地誌学習のための教材化の試み』令和元年度広域科学教科教育研究報告書（東京学芸大学大学院連合学校教育学研究科），21p．2020.（青木 久と共著）

BrexitからアプローチするEU/ヨーロッパ理解．新地理68（2），62-65，2020.

環濠集落―一身田寺内町，三重県津市．地歴・公民科資料2020年度3学期号（付録　都市・集落学習シート）（帝国書院），2021.

『景観写真を用いた沖縄・台湾の地誌学習のための教材化の試み』令和2年度広域科学教科教育研究報告書（東京学芸大学大学院連合学校教育学研究科），45p．2021.（青木久ほかと共著）

教科書・指導書

『楽しく学ぶ世界地理Ｂ　最新版（文部科学省検定済教科書 高等学校地理歴史科用）』帝国書院．2003.（中村和郎ほかと共著）

『世界を学ぶ高校生の地理Ａ 最新版（文部科学省検定済教科書　高等学校地理歴史科用）』帝国書院．2006.（中村和郎ほかと共著）

『高等学校　世界地理Ｂ（文部科学省検定済教科書　高等学校地理歴史科用）』帝国書院．2007.（中村和郎ほかと共著）

『高等学校　新地理Ａ（文部科学省検定済教科書　高等学校地理歴史科用）』帝国書院．2013.（荒井良雄ほかと共著）

『高等学校　新地理Ａ　教授資料』帝国書院．2013.（荒井良雄ほかと共著）

『社会科　中学生の地理―世界の姿と日本の国土（文部科学省検定済教科書　中学校社会科用）』帝国書院．2016.（谷内 達ほかと監修・共著）

『社会科　中学生の地理―世界の姿と日本の国土〔指導書〕』帝国書院．2016.（谷内 達ほかと共著）

『高等学校　新地理Ａ（文部科学省検定済教科書　高等学校地理歴史科用）』帝国書院．2017.（荒井良雄ほかと共著）

『高等学校　新地理Ａ　指導資料　指導用教科書（朱書き）』帝国書院．2017.（荒井良雄ほかと共著）

『高等学校　新地理Ａ　指導資料　研究編』帝国書院．2017.（荒井良雄ほかと共著）

『社会科　中学生の地理―世界の姿と日本の国土（文部科学省検定済教科書　中学校社会科用）』帝国書院，2021.（米田 豊ほかと共著）

『社会科　中学生の地理―世界の姿と日本の国土〔指導用教科書〕』帝国書院．2021.（志村 喬ほかと共著）

研究プロジェクト（研究代表者）

地域住民の健康状態からみた地域間格差と近代化―戦前の軍統計を用いた日欧比較．科学研究費・基盤研究（C），1999-2000.

ヨーロッパ統合にともなうロマ人社会の構造的変化．公益財団法人サントリー文化財団「人文科学，社会科学に関する学際的グループ研究助成」，2000.

社会指標からみたヨーロッパの地域間格差と近代化―「生活の質」に着目した分析．科学研究費・基盤研究（C），2001-2002.

近代化にともなうヨーロッパの地域間格差の拡大メカニズム―保養地を事例にした分析．

科学研究費・基盤研究（C），2003-2004.

EU 統合に伴う中央ヨーロッパの都市再生プロセスとエスニック集団．科学研究費・基盤研究（B）（海外学術調査），2006-2008.

地域間競争下のEU 都市観光化へのエスニック集団の対応―アジア系外国人の適応と戦略．科学研究費・基盤研究（B）（海外学術調査），2010-2012.

環境を重視した温泉保養地におけるヘルスツーリズムの可能性―ドイツ保養地を事例として．財団法人日本健康開発財団研究助成，2014.

地理学における外国地名の表記方法に関する検討．公益財団法人国土地理協会学術研究助成，2015.

多文化化が進むEU 国境地域における多文化共生社会の可能性．公益財団法人サントリー文化財団「人文科学，社会科学に関する学際的グループ研究助成」，2016.

多民族化が進むEU 国境地域における持続可能な社会への課題．公益財団法人サントリー文化財団「人文科学，社会科学に関する学際的グループ研究助成」，2017.

変動するEU 国境地域におけるエスニック集団共生の課題．科学研究費・基盤研究（B）（海外学術調査），2017-2020.